

質問に対する回答

更新日: 令和7(2025)年6月25日

	質問のあった日	質問内容	回答
1	令和7(2025)年 6月20日	調査項目について、スクリーニング設問5問、本調査20問と記載がありますが、調査会社ごとの無料設問は考慮していない想定で良いでしょうか。 また、マトリクス設問は無しの想定で良いでしょうか。	調査項目について、県が提示する設問(スクリーニングを含む)は見積の積算対象と想定しています。 なお、スクリーニング調査及び本調査の設問数は、あくまでも例示ですので、調査によっては設問数が前後する可能性があります。 また、調査によってはマトリクス調査を設ける可能性があります。
2	令和7(2025)年 6月24日	有効回収サンプル数について、各調査1,000サンプル以上と記載がありますが、現状の条件で回収が難しい場合、③の調査については年齢層の拡大を想定しているとあるため緩和ができるかの認識ですが、①②の調査については1,000サンプルの回収が必須になるのか、緩和であればどこまで緩和可能なのか ③においても緩和しても1000サンプル以上の回収ができない場合、他の条件での緩和が可能なのか	委託業務仕様書の4業務内容における①②の調査について、各1,000サンプル以上の回収が難しい場合は、年齢層の拡大等によりサンプル数を補填することも想定しています。なお、サンプル数の補填方法は企業によって最適な方法が異なると考えられますので、企画提案書に補填方法をご提示いただき、最優秀提案者決定後の仕様書協議にて決定することといたします。 ③についても上記と同様、1,000サンプル以上の回収が難しい場合は、企画提案書に補填方法をご提示ください。
3	令和7(2025)年 6月24日	モニターの保有状況について、保有モニター数の提示ではなく、実際の最大回収数想定の提示でも大丈夫でしょうか。	審査の公平性を確保する観点から、同一条件にて評価を実施したいため、保有モニター数をご提示ください。